

**日曜日には
TVを消せ**

No. 9 PART I

★TVの『座頭市物語』は'74年の
10月から翌年の4月まで放映された。
あれから1年以上もたった。『痛
快!河内山宗俊』『夫婦旅日記、さ
らば浪人』と勝プロ作品はつづき。
今秋からは、再び『座頭市物語』が
始まるという。

この特集も「出す、出す」といいながら、ずいぶんのびのびになってしまっていた。準備に手間どっていたのもなければ、満を持していたのでもない。ただ急げていたのである。

* 勝新太郎は「スター」であり、「プロデューサー」であり、「脚本」も書き、「監督」もする。ここでは、勝新の監督としての面をどうえでいいこうと思う。

勝新監督の映画作品は、『顔役』(71)、『新座頭市物語・折れた杖』(72)の2本のみ。一方、TV放映の作品では、『座頭市物語』の内、「祥月命日いのち鐘」「忘れじの花」、「二人座頭市」「赤ん坊喧嘩旅」「赤城おろし」「心中あいや節」の6本、『痛快! 河内山宗俊』の内、「地獄に花をつみに行く」「横吹雪江戸の夕映え』「？」の3本（「？」は岸文雄出演のもの）。

★ 1976. 10. 3

★特集《勝新・座頭市物語》

★ 製作 = PHC-TV
(豐橋 - 足柄)

神奈川県足柄上郡大井町金手1099

辻田博明 YOTA

①258 TEL.0465-82-4466

『夫婦旅日記・さらば浪人』の内、「暮
えつの鐘が鳴る」(これは「走れメロス」の
ような作品だつた)。

勝新演出作品は、TVでより見る
ことができる。といえる。そして、勝
新演出のだいご味は、これらTV
作品でも味わうことができる。

「われわれにそなり、ている多くの感覚の一つ一つは、世界とわれわれ自身に向って開いている窓である」

リヨナス・メカス『メカスの映画日記』

P202 .

勝新演出作品に、3・立入り言葉である。

1976.6.28. 謠壳新聞

感動的な最後
の盛り上がり



● タイトル

座頭市物語

● 放映日時

毎週木曜午後八時から八時五十分

● 放映局・スポーツ、サード

CX(フジテレビ)。大正製薬、ニッカウヰスキー、黄桜酒造、カシオ

計算機、花王石鹼

企画

久保寺生郎、角谷優

プロデューサー

西岡弘喜、真田正典

美術

太田誠一

技術

大角正夫

照明

風間博

音楽

原作

富田

現像

子母沢寛

東洋現像所

企画

太田誠一

美術

技術

照明

風間博

鳥で知る春 木の芽の匂い 耳で知る秋 ツクツクボウシ
 お天道さん…… お天道さん……
 目見えないがらすの このあたしとは
 お互い貸し借りりや ないけれど
 さけば あなたもひと者
 もし……どなたさままでござります
 ええ 寄るんじやねえ おい 寄るんじゃねえ
 寄るへえと 何だ おい 桂葉さんかい
 風がほんたう葉にさえも
 おびえてとひ起き抜く仕込み枝
 お天道さん…… お天道さん……
 かんべんなすって おくんなせよ
 やくざな この身の かわいさに 片手念佛 逆さ切り
 ああ もう斬りたくねえ 斬りたくねえ
 お天道さまも お天道さま
 ちょっとだけ ちよっとだけ
 目をつけてやつて 逃げられるんです
 地蔵さんは からまるとまり
 花に蝶々が お天道さん
 お天道さん…… お番でござんす
 こんどはわたしも ごけれど
 死ぬのはいやで ござります

© 1974 by Fuji Telecasting Music Pub.
フジTV系「座頭市物語」主題歌

フジテレビ
開局20周年
年記念番組

★ 第一回 「のるかそるかの正念場」へ脚本・高岩肇監督の町は山源一家と悪とい新興勢力・弥三郎(津川雅彦)一家の争いが絶えなかつた。足尾へ通じる峠道で、市は、ひとりの旅人と道連れになる。辰蔵(中村翫右衛門)といふ名のどの男、以前は「投げドスの辰」の異名で知られた一匹狼の渡世人だった。
 ▶ お新(土田早苗)、権太(園田裕久)、千太(寺田誠)、彦太郎(堺左千夫)、他 中井啓輔

UHBTV後8:00



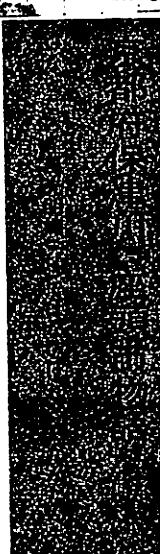
スゴ味ある
ユーモア

UHBTV後8:00

座頭市物語

藤新太郎が映画の当たり番をまともテレビに持つんだ。製作費も一本二千万円とばかり、この秋の話題作の一つで、やはり興行がある。シーソーずつ、丁寧な手作りの味は映画と同じだが、その上、映画になじみ添配つて遊び、今まで然を配つていて、たぶん第一回、座頭市がよく遊び、「どなたがギセルに火を賣つて」と自分でギヨロギヨ

1974
10.3
読売新聞



週刊TVガイド 1974.9.6号

★第2回「子守唄に散った女郎花」
「直居鉄也・黒田義之」10月10日

上州草津の宿で市は・弥平(南部彰三)
といつ老人の死に際に接し、太郎吉が
くれと頼ました。実は・太郎吉は

高崎一の綱問屋「方屋」の落とし玉。
だが、道中一緒になった女郎おしの
(中村玉緒)と、やくざの伊之助(江
原慎二郎)の二人づれは、太郎吉が金
づるになると知り、市を出し抜こう
とする。一方、鬼辰(小松方正)一家
も太郎吉の行方を追っている。

▼政吉(今井健二)や小鹿番、中

「おーい、島が見えたゾー」と、
マストによじのぼって叫んだ帆船の
乗組員も、ニヤーヴィードの森のロビン
フッドも、後楽園球場の照明灯によ
じのぼる野球ファンも、ターサンも、
みんな「木のぼり男爵」の仲間なの
かもしれないのだ。目あきばかりで
はない、自らの勝新・座頭市も、
供に柿を取つてやるために村はずれ
ここのあいだテレビを見ていたら、子
供はすっかりうれしくなってしま
た。柿の木といつのは枝が折れやす
く、木のぼりの木とてはもつと
も難しい部類に入るのに。

「川本三郎」「アスル」74年12月号

★第3話「祥月命日いのち鐘」
橋二三一(勝新太郎) 10月17日

あいにく裏番組が長嶋引退劇だった。
地下鉄北18条駅から一キロ余り
なで走った。勝新演出の回は、すべて
力ラーで館田芳彦氏の家で見せて
いたのである。多謝。

視聴率激減。放映時間に遅れまいと
ながら、座頭市が見せてくれた。
力ラーで館田芳彦氏の家で見せて
いたのである。多謝。



正義をよりまわすヤツほど
鼻持ちならないヤツはない

大きい悪の前では沈黙しない。
小さな悪にだけやたらと非寛容
になる。「鞍馬天狗」の天狗竹
脇無我(脇無我)はそんな正義のタイプ
になつていて共感を持てない。

十五日夜のは、天狗が爆彈魔を
退治する話だったが、声

高く「罪もない女・子供
を巻きぞえにする憎つ

き爆彈魔め!」と自分の

ことは棚(たな)あげし他人ばかりを桂小金治ばり

に批難し、最後はとるに

たらない犯罪者を問答無

いが正義のタイプだ。

川本三郎

市は、自分も結構悪いことやつ
て生きてくる。正義なんていえ
る身ではない。だから彼はチン

ピラ江原慎二郎と情婦中村玉緒

の悪だくみを気づきながらも、

天狗のように「憎つゝき悪党め

！」と一人を成敗することなど

しない。逆に「お前さ

んがたはまだやり直し

がきくんだ、しあわせ

になんな」と二人を逃

がしてやるのだ。

座頭市の行為は正義

には反するかもしれない。

いが正義に反しない鞍

馬天狗より人間として

はるかに魅力がある。

「人間は強く正しくなければな

らない、ゆえに弱いダメなヤツ

は成敗しなければならない」と

いう天狗の考え方より、「人間は

もともと弱くダメなものだ、そ

れでもけん命に生きいくこと

に価値があるのだ」という座頭

市を考えのほうが私は好きだ。

これに対し十日夜の「座頭市」

物語・子守唄に咲いた女郎花

市を考えのほうが私は好きだ。

新吉(青山良彦)・千代(今出

川西紀)・殺し屋(チャーチラル・ト

リオ)

▼撮影・牧浦地志

意見・異見・NOW

正義をよりまわすヤツほど

鼻持ちならないヤツはない

ない。大きな悪の前では沈黙しない。

小さな悪にだけやたらと非寛容

になる。「鞍馬天狗」の天狗竹

脇無我(脇無我)はそんな正義のタイプ

になつていて共感を持てない。

十五日夜のは、天狗が爆彈魔を

退治する話だったが、声

高く「罪もない女・子供

を巻きぞえにする憎つ

き爆彈魔め!」と自分の

ことは棚(たな)あげし他人

ばかりを桂小金治ばり

に批難し、最後はとるに

たらない犯罪者を問答無

いが正義のタイプだ。

川本三郎

市は、自分も結構悪いことやつ

て生きてくる。正義なんていえ

る身ではない。だから彼はチン

ピラ江原慎二郎と情婦中村玉緒

の悪だくみを気づきながらも、

天狗のように「憎つゝき悪党め

！」と一人を成敗することなど

しない。逆に「お前さ

んがたはまだやり直し

がきくんだ、しあわせ

になんな」と二人を逃

がしてやるのだ。

座頭市の行為は正義

には反するかもしれない。

いが正義に反しない鞍

馬天狗より人間として

はるかに魅力がある。

「人間は強く正しくなければな

らない、ゆえに弱いダメなヤツ

は成敗しなければならない」と

いう天狗の考え方より、「人間は

もともと弱くダメなものだ、そ

れでもけん命に生きいくこと

に価値があるのだ」という座頭

市を考えのほうが私は好きだ。

新吉(青山良彦)・千代(今出

川西紀)・殺し屋(チャーチラル・ト

リオ)

▼撮影・牧浦地志

不正よりこわい正義

川本三郎

市は、自分も結構悪いことやつ

て生きてくる。正義なんていえ

る身ではない。だから彼はチン

ピラ江原慎二郎と情婦中村玉緒

の悪だくみを気づきながらも、

天狗のように「憎つゝき悪党め

！」と一人を成敗することなど

しない。逆に「お前さ

んがたはまだやり直し

がきくんだ、しあわせ

になんな」と二人を逃

がしてやるのだ。

座頭市の行為は正義

には反するかもしれない。

いが正義に反しない鞍

馬天狗より人間として

はるかに魅力がある。

「人間は強く正しくなければな

らない、ゆえに弱いダメなヤツ

は成敗しなければならない」と

いう天狗の考え方より、「人間は

もともと弱くダメなものだ、そ

れでもけん命に生きいくこと

に価値があるのだ」という座頭

市を考えのほうが私は好きだ。

新吉(青山良彦)・千代(今出

川西紀)・殺し屋(チャーチラル・ト

リオ)

▼撮影・牧浦地志

る決心をする。裏切り者の烙印を押され、仲間に殺されかかった又蔵を、通りがかりの市助けた……

●空風(花田三樹夫)、安田鶴(仁鶴)、伊藤千鶴(千鶴)

čeħġibba tħallieha kien minn iċ-ċeċċa

勝新太郎の『座頭市物語』がお茶の間に定着してきた。映画ではドル箱シリーズとして二十本近く製作され、四十年代前半の低調な邦画界を支えてきただけに、ブラウン管になじむ速度も格別。テレビ局のヨミがぴたり当たった感じだ。

ところで、この「座頭市物語」は激しいアクションが売り物だけに、番組づく共演者もその迫力にタジタジ…

徹底主義 勝新太郎

りにも念が入っている。主演の勝新自身

が名プロデューサーでもあり、自分で納得がいくまで取り直しを要求するし、共演者も彼の迫力に刺激されて演技にもだ

んだん熱が入つてくるといふ寸法だ。勝新の納得するまでやり直すといふ徹底主

義は「座頭市物語」全体に滲みでている。毎回毎回、大物ゲストをひっぱってくる。

作・田嶺二郎・喜本・細川清司・評
演・市川勝次・主演市川勝次の「剣鬼」
は鬼気迫る傑作である。名高い
「斬る」(大映京都62)を最近見るこ
とができたが、「剣鬼」(大映京都65)

勝新のこうした願いが視聴者に通じたのか反響も上々。第一回をみたという由年のサラリーマンからは「勝の映画、とくに『座頭市』はよくみているが、人物描写などは映画よりきめが細かく丁寧さが盛んらしい」という明寺の没書が寄せられた。

が思ひうれしかった」といふ其得のもの
られたし、第一回を都合で見
う高校生も第二回をみて、「と
にかく気分がすつきりした。
受験受験でむしゃくしゃした
氣分をやわらげてくれた」と
熱っぽい葉書をよせてゐる。

こうした視聴者の激励にこたえて番組制作の方ももつか急ピッチ。11月放送予定の「石原裕次郎がゲスト出演する

「もぐらのうた」も無事振り
終えていたし、仲代達矢、栗原小巻らが顔を出す章の脚本
ももつか進行中。

テレビの新らしい目玉番組の面目躍如といったところ。

「座頭市物語」木曜夜8:00 フジテレビ系



11.11.4

週刊TVガイド 44

の方が好きだ。奥
方が犬と不義をして出来た子供で、馬より早く走る青
年が雷蔵演ずる主人公。普段は花
人公。この豪絶な話が、私の思考を轉つ。
転る山はアップを多用し、大胆な角度で画面を構成してい
る。主を探します。ジーン、ふすますをあけ放つて薔薇室
から室へ。『刺青』一代目(日活 65)に
あれ、馬を追つて走るといふ途方もない劣らない。とも
うなアクトヨシノンが、微しがちに劍鬼山を象徴してい
る。これは星川清司の「三隅研一」の作で、それもまた
いたいが、消されたのはなぜか。されどつまりは、星川
の消されたのはなぜか。

★第7話「市に小鳥がとまつた」
「池田一朗」「田中徳三」11月14日。
悪徳家老・島田甚左衛門（名和宏）
は藩の財政再建を口実に、お狩場
でとれるキツと鮎を横流して私
腹をこやそうと企んでいたが、日
ざわりなのは鳥見役・三浦半右衛門
原裕次郎。島田は、土地の親分
角政（山本麟一）に半平殺害を命
ぐる。そんな時、やくざ同志の出
入りにまきこまれた市と、その喧
嘩を仲裁した半平が知り合った。

★第3話「忘れじの花」「奥村利夫・東條正年・勝新太郎」11月21日。首をつろうとしていたお菊(牛朱幸代)を救った市。お菊は逃げてきた女郎である。市とお菊は二人で道中。山あいの宿に泊まつた。先の宿場にはお菊の抱えり:。分松蔵(高木均)と辰蔵(鈴木康弘)が回つている。土地の親分。お菊の先の亭主左吉(山城新伍)の情報で:。
▼伊助(千波丈太郎)、おしん(武智豊子)、浪人(花岡秀樹)
▼撮影・森田富士郎

二つ目で、あわれな『ニセ市』

植木調役、添山的確な演技



(左から) 田中綾子、柄本篤、藤新太郎

物語は此の運営が崩して、弱い男の悲しさと、強い男のやさしさをうまくテフオルメして対比している。

灯火を消した腰や。『暗くな
にわらじを脱いで歩く夜な生活を
りゃ五分と五分。足當(けで)切
せぬ。市松はうれし涙。『男と
てきな』勝新太郎の座頭市の名 性悪女(浜木綿子)の入れ知恵で
せりふだが、相木錦の『座頭市』
が、これを書いて三下へやをお
どす。彼は、座頭市の向たるかを
知らず、座頭市の市松(こう自分の
名前を締めて、座頭市、と名乗る
とみな恐れる)と知り、やくの家
おうとするのが今回の訪問。やへ
た。 ライムックスだ。
「アーティスト。自分の部屋で、市松
の正体を親分にばらしてしまっ
た。」と興味をかきたてる巧みなタ
ラライムックスだ。

座頭市物語

つけいな味が一層あわれさを出
す。

男の悲しきじと、強い男のやさしさ。
をうまくデフォルメして対比している。

市松と女がいる親類分（慈蔵太
津朗）の家へ、あんまと入り
こんだ座敷では、市松が女に仕任せ
掛けで悪事をそなえさせられる
のを知り、忠告するが受けつけ
れない。「おめえ、やいてんだ
な」と市松は憤りに憤慨。こんな
人物に貞本は歎息で、きらめきの

勝新太郎と十朱寧翁



勝新も恐がる“禁句”

「木曜の夜は『座頭市』一見ない人はタタツ斬るよ」と、気炎をあげる勝新太郎。先日も完成バーでその抱負を語った。

「テレビだからとうう意識はないよ。だけど映画よりもっと人間くさい座頭市になるな」。テレビは六十 分、ドラマのテンポは早くなるとどう「カーメン・シャル

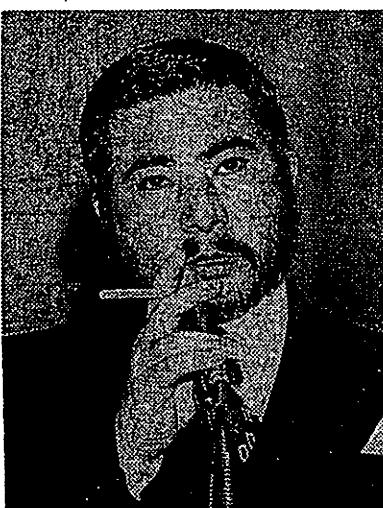
★第10話「手元になつて。」

* 第二話「木曾路のつむじ風」
「井昭三郎・黒田義之」12月
12日。市を追ひ回していふ甚五
郎(井田昭)一味。土地の親分
左平次一家の力を借りて市を

座預市物譜

勝新太郎

10/24 木 夜8:00~8:55
フジ・関西・東海・テレビ静岡



(脚本担当)とね、一週間行動をともにしたんだ。そしたらとんでもないアイデアが出てきた。それは見てのお楽しみがね。けれどね」と、自信のほどを強調。『どめくら』『こじき』など、の「禁句」にも手をやいた。

「現場でかなり注意するんだが

が、『さラツシユ（試写）をみるとやたらチェックがでてくるんだな』。その度になんべんも俳優を呼びもどし、やり直したという。「とことんやらねば気がすまない」という勝新一は定版・座頭市に奮戦中。

* 第12話 「やわ肌仁義」 「高岩肇・倉田
準二」 12月26日。中仙道・安中宿へ便す
る間道で市は、男装の娘おせいへ上り
晃と道連れになつた。おせいは安中の
娘。父の敵を討つ為に、權蔵一家にわ
らじをぬいだ。市はおせいに女の着物を
与え、富岡へ帰るようさとす。好色な權
蔵はおせいに夢中になるが、おせいが自
分の命をねうつていると
知り、彼女を河原におび
き出す。
← 174. 12. 9 朝日新聞
(新規連載)

仙五郎(三上真一)
おはつ(春川)ま
るい・ほか・蟹江敬三・古
川口ック・佐山俊二

★第13話　「2日。資料が千元にない。
不明。」
1月17日
原田順夫　（井上昭）
千両くじ（直居鉄哉）
原田順夫　（井上昭）
1月9日。ちょっとした親切の礼にと旅の男（原田芳雄）がくれた

か。
大鎗を棄したので、出演
した「アンの恋想」は「歌の夜祭
が、こんなにむかひこんど」
と、神妙そのもの。お詫びせ
といた時は「ギャラをとるや人
もいっしょだよ」とほめながらも
「殺若湯祭め、ホンホド」と
いふ回答。

くじが千両当った。市はくじのことを知らせようと男玄追う。
ところが、男は長年留守にいた
妹故郷の妻おはな(赤座美代子)や
はつ(武原英子)の事が第一で、くれてやつたくじが当ろうと當るまいと、やつたんだから
ら・ととりあわない。おはなに
は勝浦へ小池朝雄(鮎分)の手が
のびてゐる。井上昭に注目。

辰巳謹造
（一九三〇年八月）

卷一

第15話「赤ン坊喧嘩旅」
田女が市と間違えられて和平次(岸
田森しらに殺された。市は女が
抱いていた赤ニ坊を里の父親の
もとへ送り届けようとする。途中
中で出会つたスリのお香(大谷
直子)と一緒に地の大親分・赤ニ坊の父
も今まで土(仁)と一緒の旅。
うない(中山)としらば(長沢大)
ら(島嶼)としらば(平太夫)
茂(横山)あきあ(嘉七(志)
鍋明子(原田清人)
平(志)

* 第17話「赤城あうし」「直居
鉄也・原田彌太郎」「勝新太郎」
1月30日。存知国定忠治(辰巳柳太郎)を情婦(?)お町(也)
玲子(さや子)を交えて人間味ある、弱さのある人物像として描いたもの。
強風の描写が渋える。
▼三室の勘助(清水将夫)、
お加代(奈三恭子)、吉五郎(辰巳梅正)、文蔵(御影伸介)、梅



赤城おろし



卷之三

〔第18話〕「花嫁崎に夕陽は燃えた」
〔山田隆之・森一生〕2月6日
庄屋の娘おちか（紀比呂子）は、
隣村の峯吉（赤田光夫）に嫁入りする途中、代官磯崎の一行
と行きあつた。磯崎はおちかに横恋慕。峯吉に無実の罪をさせ、
おちかにいうことをきけとせまる。おちかは身投げをはかったが、市に助けられた。
▼孫兵衛（中谷一郎）、源之丞（郷鉄治）、与左衛門（北沢彪）、万蔵（小林勝彦）、浅香春彦

宮辰夫 宮本暎二郎

★第20話「故郷に虹を見た」「地
田一朗(藤田まこと)は、弟・清次・壯
作(原崎建三)の三人殺しの罪を道連れに
ぶり板前修業の旅に出た。道中、市と道連れになり、三年ぶりに帰つてみると、店は土地の親分・岩五郎(織本順吉)に乘
りに取られ、妹・志津(真野響子)も岩五郎のえじきになる寸前
壯吉は「俺が不幸せになれば、うが幸せになる」といふ。織本順吉は

★第19話「すつとび道中」「池田一朗」「黒田義え」又月13日。
島嶼りの清太郎（中村賀津雄）は、行方定めぬ旅がらす。あばずれだが心のやさしい女、お初の横山リエ」と意気投合し、旅は道づれとしゃれこんだ。沼田の安五郎（土方弘）の猪場に上った。清太郎は負けがこみ、松川の大吉（南祐輔）殺しきをひきうける。
深手を追い、松川一家に追われる清太郎を市がたすけた：▼松三（樋浦勉）、平造（田村正男）、三木昭（田角間）

* 第22話「愛が始まる日」「高橋
二三一井上昭 3月6日。市は、
心中を図つた一组の男女玄助けた。
男は仙太郎(林与一)、女は土地
の豪商の娘・お妙(津山登志子)。
実は二の仙太郎たくみな口實で、
女をだます女たらしくみな口實で、
たゞすんざ苦界に身を沈め男で、
たためにすんざ苦界に身を沈め男で、
たとえ宿場女郎おゆき(小川)
の問わづ語りの身の上話をう
聞くうちに、この女も仙太郎にだ

駒造(山下潤一郎)、倉次(石雄大)、辰次(伊吹新吾)。

★第21話「女親介と狼たち」「高橋二三一 森一生」2月27日。

▼撮影・森田富士郎

やたらに胸を押しつけたへりや
りせうしへ表現。



お妙（三浦寅弓）は宰助との仲を市（勝新太郎）に打ち明ける



市（勝新太郎）とお蝶（三子）



桂田



桂田家

まさか一人と知る…

▼岩戻(田中謙三)・五兵衛(成瀬昌彦)・宗一(根岸一正)
を来路史圖

★第23話「

資材千元になくなつて不明。
(3月13日)



左から座頭市(勝新太郎)とおゆき
(小川知子)

★第24話「心中あいや節」「星川清司・勝新太郎」3月20日。津軽三味綿版ひびく勝版。津軽じよんがら節。盲目のうぜ・おさわれ(浅丘ルリ子)は芸人のおさわれを破り、はなれこせの焰おさわれ。印を押され、一人の殺し屋に狙われる。石橋蓮司。

★第26話「渡世人」[内海一昇=黒田義之]4月3日。
(最終回)

75.7.12 山形新聞



00 ★座頭市物語「渡世人」

(原作)子母沢寛
(脚本)内海一昇
(監督)黒田義之
座頭市…勝新太郎、新三…近藤正臣、銀平…新克利、おそで…真木洋子、重吉…渡辺文雄、勘兵衛…今井健二、仙造…成瀬正孝、用人椿…平沢彰^a

55 FNN

▼「心あいや節」
(和崎後哉)、島吉(近藤洋介)、仁三郎(新橋耐子)、忠助(小笠原良智)
お信(新橋耐子)は親も同然と複雑な気持ちのまま、市を求めて敵討ちの旅に出た。そのころ市は銀平の徳兵衛のやり方には批判的妹であり新三の許婚のおそでだった二人だが、親分といえと道連れになつた。



左から原田芳雄(金子市之進)、勝新太郎(河内山宗俊)、

十月新番組の先陣をきいて、ヤマトアレンジの「病ノ河内」この日撮影したのは、主役の勝新太郎、原田芳雄、ヒヂ、火野正平、柳井かおりの五人。

あとで梅雨空があつたが、勝新河内山の快気炎ば、うつとおしゃい気分を吹きつけ、「櫻の河内はまことに河内山アマリイーな」と火野を喜ばせつづいた。

勝新らハッスル

新番組「痛快! 河内山宗俊」

のコントファーマーとして度じみたいね。諸君おぞれ個性豊かだから「応園寺金子市之丞の名前を借りるものの、討論しながら面白に新しい性格の人物を演じられるのだとこだわる」と記者会見は勝の強調。独特の演説。

しかし、スタンオフしたりしてあるが、面白に新しい性格の人物を演じられるのだとこだわる」と記者会見は勝の強調。独特の演説。は、ヒヂ、柳井かおり、火野正平、柳井かおりの五人。

は記者が近づくと強められ、勝新らに取材陣が群がついた。女性問題のほとんどががむる火野正平は記者が近づくと強められ、勝新ゴッドファーザーはそれとなく取り

75.6.20 韓日通信
◎勝新がハンドバッグ
座頭市でおどろみの勝新太郎
はじめひ
河内山宗俊
袋に取り組む。これまで
はジムで
休制で喫食は敌人とされたい
たが、このドラマでは反
体調回復回で、独特の腕と腹
胸、脚のすこやかで腰を回す
そ�だ。「殺陣もまく新しい手
法を覚える。たとえば花を投げ
ねばパンと相手に廻さないとい
うよりな……題名通り痛快時代
にしたじ」と腰振り弁。



新・摩頭市物語が始まつ
からではありますにも遅れず
かりだしてからうけでとりか
こんなことなら。之日で完成か
るべきなのだ。もつと早くや
木曜日は・札幌・いまつけたも
へという名称は・旬知人会
のし一・鉄屋彰子・館田芳彦・
高村賢治・木下啓司・佐藤真知
子ほか遊樂地下劇場を中心にして
た廿一・クルから仁平裕子・高並
貞せらーの例会だつたので、毎回見るとい
う座頭市物語を毎回見るとい
う訳にはいかず、結局見たのは正念場
第一話・第二話・第三話・第四話・第五話
舞人坊・舞人座頭忘れられに散った女郎花場
千両市頭・千両市頭・千両市頭・千両市頭
鶴鳴の祭旅・おろし・第十一話
見たし、第二話・第二話・第二話
のや節の十一話。
あらすじ一導入
虹城なン舞人ハ話題・第一話
のいの回のあらすじ一導入
から見たら、故七五潮風語
みれいに中郷話め話
以外あに赤ん朧に二編し

勝新の『顔役』は全身をかけてみる映画だつた。映し出されられる対象の力と、観客は対決を強いられる。広角・アップ・パン・フォーカス・長回し。すべてが緊張にみちている。呼吸する力メラード。しかも皮膚呼吸までをとうえようとする映像がそこにあつた。MAOは『毛穴的感覚』と評した。まさに毛穴の息吹きを感じさせるのであり、例えば

も錢く描かれてゐる。

卷之三

*

ＴＶでも勝新は映画を撮って、奥行深い画面に、人物を何人も映しこんで、人間同志の緊張関係を表現する。荒れる風の音。軒先から落ちる雪の音。勝新座頭市は静かで、ある。座頭市よりも陰影をもつて描き出されるのは、中村玉緒や十朱幸代、植木等、大谷直子、辺玲子、藤田まこと、浅丘百合り、市子ら、市と関わる人々である。殊に勝新演出の時は、市井より

プリンも、悲劇がクロース・アップでどうえられた人生であるとすれば、喜劇はロング・ショットでどうえられた人生である、といつた意味のことを述べている。筆を進めていく。なるほど。
『顔役』は悲劇である。ラストで勝新が畫士をふみ固めるほど・空しさがこみあげてくる。風車に立ち向かうドン・キホーテさながらの運命である。人斬り与太郎(東洋)はいみかたである。戦争は傍観勝てないのだ。闘争的である。72年戦争はいつにならぬものだ。

★今年見た映画（映画館で）。

②月一『必殺女拳士』大阪

電撃作戦山砂のミラーツュ

ガルニアの首

る殺し屋陸軍中野学校

とり狼眠狂四郎殺法帖

狂四郎勝負新・動く標的

蒸気機関車の詩アフリカ

鳥横浜黒街マニニガル

の童暴走パニック・大殺

突追想キンキンのルン

一大将駄作新・仁義なき

佐々木船一郎 演出作品
紅い花

戦い・組長の首山(6月)ア屋根裏
の散歩者ル「奴隸妻ル「馬作・女
子大生欲しがる年頃ル「○犠の物
語ル「狼たちの午後ル(3月)人斬
リル「軒るル「鰐ル「真田風雲
録ル「華岡青州の妻ル「恐るべ
き子供たちル「操作行ゼロル「ア
ウトロー」セント・アイブス
「十七人の忍者ル「柳生武芸帖
「剣豪自れ雲中泳ぐひとレ「お
ももいでの夏ヒテ大地の子守唄ル
「戦後獨奇犯罪史ル「駄作・任侠
外伝・玄海灘山(4月)「おんな
所性地獄ル「美録阿部定ル
★今日の名言――「目を見て人
がわかるか」の質問に答えて.
「田紳有樂レ「谷崎賞優賞の
藤枝靜男「わからぬ。興奮
する」とアドレナリンが血中に溶
けて瞳孔が開く。特攻隊も人を
殺さうとする右翼モ、女を見る
男の目もみんな同じさ」(9/25
読売新聞)